



2022年8月12日

各位

会社名 西本Wismettacホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長CEO 洲崎良朗
 (コード番号: 9260 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役常務執行役員CFO 佐々祐史
 (TEL. 03-6870-2015)

2022年12月期 通期連結業績予想の修正、
 剰余金の配当（中間配当）並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表いたしました2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

また、当社は、2022年8月12日開催の取締役会において、2022年6月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議いたしました。あわせて、5月13日に公表いたしました2022年12月期の期末配当予想についても修正いたしますので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2022年12月期通期連結業績予想の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年5月13日公表)	254,000	9,000	9,000	6,000	418円03銭
今回修正予想(B)	265,000	10,500	10,500	7,000	487円70銭
増減額(B-A)	11,000	1,500	1,500	1,000	
増減率(%)	4.3	16.7	16.7	16.7	
(ご参考)					
前期実績 (2021年12月期 連結)	213,248	7,301	7,204	5,028	350円34銭

(2) 修正の理由

2022年12月期通期連結業績予想につきましては、売上高は順調な回復が見込める一方、需給バランスの正常化に向かう中での価格競争局面や、仕入原価や海上運賃、物流費等の上昇が利益率に及ぼす影響等を勘案しておりました。

当第2四半期連結累計期間における事業環境は上述の想定通りであったものの、主力の北米地域を中心に、原価の上昇を一定程度吸収できる利益水準が維持できたことに加え、円安による為替換算の影響が利益を押し上げる結果となりました。

当期末に向けて、費用の更なる増加やインフレの長期化が消費者動向に及ぼす影響等、事業環境に対する先行き不透明感は強いものの、上半期の業績及び円安傾向の継続による増益効果を勘案し、通期連結業績予想の修正を行うことといたしました。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月13日公表)	前期実績 (2021年12月期中間)
基準日	2022年6月30日	同左	2021年6月30日
1株当たり配当金	70円00銭	65円00銭	35円00銭
配当金の総額	1,004百万円	—	502百万円
効力発生日	2022年9月16日	—	2021年9月16日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回公表予想 (2022年5月13日公表)	65円00銭	60円00銭	125円00銭
今回修正予想	—	75円00銭	145円00銭
当期実績	70円00銭	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期 連結)	35円00銭	70円00銭	105円00銭

(3) 修正の理由

当社は、将来の事業展開と財務体質強化のため内部留保を確保しつつ、安定的に配当を継続して実施していくことを基本方針としております。配当性向を重要な指標とし、通期30%程度の連結配当性向を目安としております。

2022年12月期の配当につきましては、当社グループを取り巻く事業環境および今後の業績見通し等を総合的に勘案した結果、上述のとおり第2四半期末の中間配当を1株当たり70円とさせて頂くとともに、期末配当の予想を1株当たり75円に修正いたします。これにより、年間配当につきましては、1株当たり145円を予定しております。

(注) 上記の予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上